

# 大垣市 農業委員会だより

## 第22号

令和5年1月1日発行

編集/発行 大垣市農業委員会

(大垣市丸の内2丁目29番地)

☎ 0584-81-4111(内線2532)

☎ 0584-47-8614(直通)

Fax 0584-81-4899

## 新年のご挨拶

大垣市農業委員会

会長 岩井 豊太郎



新年あけましておめでとうござい  
ます。

令和五年の新春を、健やかにお迎  
えのこととお慶び申し上げます。

令和二年一月に国内で新型コロナウイルス  
ウィルス感染症の感染者が報告され  
てから、私たちの生活環境は大きく  
様変わりし、農業を取り巻く環境も  
様々な影響を受けました。かつてな  
い規模とスピードで感染拡大した  
「第七波」は、八月下旬をピークに  
減少に転じ、九月末には「岐阜県B  
A・5対策強化宣言」が解除された  
ところでありますが、十一月後半か  
ら新たな変異ウイルスが発生して急  
激な拡大が懸念されており、国では  
第八波の様相となってきたと発表し  
ています。

さて、本年は私たちの任期も最終  
年度となり、七月には改選を迎える

こととなります。農地利用の最適  
化推進や農業振興など、農業委員・

農地利用最適化推進委員の果たす  
役割は極めて重要であります。農  
業委員会活動のさらなる活性化に  
向け、熱意と行動力のある女性の  
委員への登用が求められています。

女性の農業委員への登用につい  
ては、農業委員会法第八条におい  
て「市町村長は、農業委員の任命  
にあたっては、委員の年齢、性別  
等に著しい偏りが生じないように  
配慮しなければならない」とされ  
ています。また、政府が定めた「第  
五次男女共同参画基本計画」や、  
県が定めた「ぎふ農業・農村男女  
共同参画プラン」においても、農  
業委員に女性が占める割合を令和  
七年度までに三十％に引き上げる  
ことが目標とされています。女性

の視点を活かし、多様な意見を農  
政活性化に反映していくため、本  
市においても女性の農業委員の登  
用に積極的に取り組んでいく所存  
です。

また、本年から農業委員、推進  
委員全員にタブレットを導入する  
ことにより、農業委員会業務の効  
率化を図ることになります。

タブレットの主な機能は、農地  
台帳の情報更新、出し手・受け手  
の意向情報の入力・共有、現地地図・  
目標地図の作成、活動記録簿の作  
成、各種調査の報告書の作成等  
です。

本年はこのタブレットを活用し、  
「農業委員会一事例づくり」の取  
り組みを通じて「農地利用の最適  
化」活動が着実に実行され、「第二  
次ぎふ農業委員会活性化大作戦」  
の目標に向かって目に見える成果  
が数多く創出されることを期待し  
ます。

最後になりますが、皆様方のご  
支援ご協力をお願い申し上げます  
で、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 我が家の

### 農地はどい

大垣市農業委員

清水 峰幸



我が家の農地がどこにあるのかご存知ですか？

現代社会において、忙しい等の理由から農業のことは後回しになってしまい、その結果、相続が起きた時に我が家の農地はどこにあるのかわからない、又は、田畑を預けておいたままになっているため、我が家の農地について家主だけは知っているものの、家族は無関心になってはいませんか。このような事が起こらないよう、子供や孫に我が家の農地がどこにあるのか伝えていくことは大切な事だと思えますので家族団らんの一つの話題に加えてもらえたらと思います。

農業を営んでいくためには農地をしっかりと把握していかないと今後大変なことになるかねません。農業委員会では地域の耕作放棄地の撲滅に向けて監視活動をしたり、農地中間管理機構を通して農地の集積・集約化を図って農地の有効利用を進めております。この制度活用により、担い手農家も安心して規模拡大に取り組んでいきます。今後、耕作放棄地が出ないよう地域一丸となって取り組んでいきます。

## 将来の農業に

### 思うこと

農地利用最適化推進委員

大橋 耕司



令和二年七月に農地利用最適化推進委員に任命されました。それまで南杭瀬地区には、農業委員、農地利用最適化推進委員がいまませんでした。改良組合から推薦されました。

研修会、定例会等に参加し、そこで学んだことを生かして、地区におけるいろいろな課題について地域の農業に従事している人と話しをするなど、農地の有効活用に取り組んでいます。

今、私自身が思うことは、少子高齢化に伴う、担い手の後継者不足です。研修会が終わった後、農地パトロールを行いました。当地区において耕作放棄地が多い事。中でも草丈が2m以上の所が多いのが現状でした。すぐ近くには田があり、営農に影響があります。その為にも農地の集約化が必要だと思えます。担い手への農地集約を進め、耕作放棄地をなくすことで、将来の農業を子・孫に託す為にも、家族・地域の人との交流を密にし、地域農業の振興に努めていきたいと思えます。

## 中山間地での

### 農業のあり方について

農地利用最適化推進委員

谷川 利美



多良地区は上石津町の中央に位置し、養老山脈と鈴鹿山脈に囲まれた自然豊かな地域です。

現在はその地区でも耕地整理がされており、機械の導入により作業効率が上がっていますが、当地区においては、ほとんどが小規模の兼業農家で高齢者ばかりです。そのため耕作放棄地が多くなり、また農地の多くは段差があり、傾斜のきつい畦畔の草刈りや水の管理があるばかりではなく、猿や鹿、猪による被害も年々増えており、各地区に被害防止柵が設置されております。また、放棄地をなくすため、担い手への農地集約化を進めたり、三年に一回のブロック転作を行っています。またまだ課題をかかえています。農業委員さんとともに当地区における農業のビジョンを考え、さらには、農業所得の向上に繋げていくように取り組んでいく中で、各関係機関との情報交換を密にして対応していきたいと思えます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 農業委員・農地利用最適化推進委員の募集について

農業委員・農地利用最適化推進委員の任期（令和2年7月20日～令和5年7月19日）が満了することに伴い、農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します。

募集期間、人数等の詳細につきましては、広報おおがき、市ホームページにて掲載いたしますので、農業について地域の中心的な役割を担っていただける方の応募をお待ちしています。

### 1. 農業委員の業務

毎月開催される委員会に出席し審議して、最終的に合議体としての決定を行います。

### 2. 農地利用最適化推進委員の業務

担当地区において、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等、積極的に現場活動を行います。

### 3. 農業委員・農地利用最適化推進委員の共通の業務

- ・担い手への農地利用の集積・集約化
- ・耕作放棄地の発生防止・解消
- ・新規参入の促進
- ・地域計画における目標地図の素案作成（※）

※農業経営基盤強化促進法に基づく、10年後の目指すべき農地の効率的・総合的な利用の姿を明確化した、目標地図の素案の作成にあたり、タブレット端末を活用した利用意向調査や、遊休農地の調査を行っていただきます。

## 大垣市農地賃借料情報

令和4年1月から12月までに、農業経営基盤強化促進法に基づき利用権設定された賃借料及び農地法第3条許可により設定された賃借料における賃借料水準は、次のとおりです。

〈水田の部/10aあたり〉

締結（公告）された地域名	平均額（円）	最高額（円）	最低額（円）	データ数
大垣地域	5,000	5,000	5,000	1
上石津地域	0	0	0	0
墨俣地域	4,514	5,000	4,000	35

## 農業者年金に加入しましょう

国民年金の上乗せの公的な年金「**農業者年金**」で安心して豊かな老後生活を！

- 80歳までの保証付きの「終身年金」です！
- 一定の要件を満たす方には、月額最大1万円の保険料補助
- 加入で大きな節税効果！保険料は全額社会保険料控除の対象

詳しくは

農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



Part  
2

かがやく☆人・農地訪問☆

みんな笑顔！「子ども食堂」赤坂子どもわくわく塾

～赤坂地区～

団体プロフィール

名称：赤坂子どもわくわく塾  
運営団体：赤坂子どもわくわく塾実行委員会  
会場：赤坂東地区センター、赤坂小学校など  
対象：小学生  
活動内容：「子ども食堂」を通じて学習支援や  
ものづくり体験などを行う。



ストラップ

マイアクセサリー！  
妹の分も作ったよ☆

令和4年10月、赤坂東地区センターで地域の子どものための居場所づくりを目的に運営する「赤坂子どもわくわく塾」におじゃましました。参加者：子ども33名 スタッフ：26名

Q 現在までの活動と事業効果は？

A 七夕つくりや創作クラフト・ビンゴゲームなど、子どもたちがわくわくするような内容を行っています。今回は赤坂小グラウンドでしっぽ取りなどの交流ゲーム、センター内ではストラップやビーズ作品を作りました。スタッフの中には、中高生も積極的に関わっています。子どもたちと年の近いお兄さんやお姉さんが遊びや学習を共に交流することで、お互いに心地よく参加できる居場所にもなっているようです。



秋晴れ気分！最高(^^)/  
お兄さんのしっぽとったよ☆



みんな大好きカレーライス  
柿やりんごケーキも大人気

Q スタッフはどんな方？

A 教員OBや社会教育推進員、民生児童委員は学習支援やものづくり、食生活改善協議会や福祉推進委員は食事づくりを主に担当しています。また地域の有志や中高生は自ら関わりたいコーナーを担当してもらうなど、老若男女のスタッフが和気あいあいに子どもたちと交流をしています。

Q 子ども支援の活動に地域の農業（者）が協力できることは？

A 地域の方から野菜や果物・お米などいただいたり、市内のフードバンクや子ども食堂仲間からの提供品も活用しています。農家の新鮮な作物が子どもたちの楽しい食事メニューに活かせることは大変ありがたいです☆



地域の方から玉ねぎ  
をいただきました☆



みんなと遊んだ後の  
食事はおいしいね☆

★取材を終えて

市内には現在8か所の「子ども食堂」が様々なカタチで子どもたちの健やかな成長を応援しています。そこには「命を支える食の楽しみ」があり、地域農業者の「顔の見える・安心安全な食材」の提供にも大きな期待と協力の場があることを感じました。